

# なかましみんとしょかん 中間市民図書館

## おすすめの本

<小学1・2年>



### 『おじいちゃんのおばけのはなし』

ジェームズ・フローラ著、こみや ゆうやく

だいにっぽんとしょ  
大日本図書

かみなりがなる夜、おじいちゃんは森でまいごになった話をしてくれた。でも、「この先は、こわい話になるから、やめておこう。きっと、ねむれなくなってしまうからね」と言う。でも、つづきが気になるぼくは、おじいちゃんにお願いして話を聞いた。すると、ガイコツやまじよ、ゆうれいまで登場して…。

<小学5・6年>



### 『オオカミは海をめざす』

みたむら のぶゆき著、きたざわ ゆうき絵  
三田村 信行作、北沢 夕芸絵

どうしんしゃ  
童心社

イリヤは、ある日突然ぼくたちの前に現れ、強い印象をぼくたちに与えて消えた。イリヤとぼくたちとの関わりを要約してみれば、ただそれだけのことすぎなかったが、その内実は、謎と秘密と不思議な冒険に満ちていた…。生きにくさを感じている人に勇気を与えるものがたり物語。

<小学1・2年>



### 『牛革のランドセルができるまで』

かみよしかわ ゆういちしゃしん ぶん  
上吉川 祐一写真・文  
ぶんいちそうごうしゃはん  
文一総合出版

牛革のランドセルは、もとをたどれば「牛の皮」。いのちあるものが、どのようにして革製品へと生まれ変わるのでしょうか。毛がついた大きな牛の「皮」が、職人の手によって「革」へと変貌していくようすを、写真でどうかします。

<小学3・4年>



### 『おばあのサーティアンダギー』

かみじょう  
上條 さなえ著、こやま もえ絵  
しょぼう  
さ・え・ら書房

小学3年生のみるくは、色黒だから「ミルクコーヒー」、目がメールの記号の点みたいだから「ドット」とよばれるようになり、学校にかよえなくなりました。そんなとき、おとなりに、まじるさんがひっこてきて…。デバ地下好きな沖縄のおばあと、不登校の女の子の間にめばえた、思いやりと友情の物語。

<小学5・6年>



### 『はじめまして赤い星』

エドゥアル・アルタリー著、ギリエン・アングラーダ・エスクテ著、  
シェダー・カイド=サラーフ・フェロン著、ミケル・スレダ=アンフレス著、  
わたなべ じゅんいち監訳、いとう のぶこ訳  
かがくどうじん  
化学同人

夜空に赤く輝く「火星」は、人類の移住先の候補地のひとつ。地図とはどう違う?これから人類が移住するために何が必要?ずっと定住すると、どんな生活になる?火星がどんな惑星かを紹介しながら、ユニークな火星の暮らしを想像力豊かに描きます。

ほかにもたくさんの本が まっているよ。

みんなで中間市民図書館にきてね!

じとうしょ  
～児童書～

ていておーるー まーこーるより

ほん らいよう しきかい

本の内容を紹介

ほん  
1  
がつごう  
月号

<小学3・4年>



### 『天狗裁き』

かわばた まことさく  
川端 誠作

しゃ  
ロクリン社

ひるね  
寝ながら、わらつたり、おこつたりしている辰五郎。それをみたおかみさんは、辰五郎をおこして、どんな夢をみたのか、きいてみました。ところが、辰五郎は「夢なんかみてねえ」といい、けんかになってしまいます。そこへ、となりの徳三郎がやってきて…。

<全学年>



### 『捨てられないずかん』

こめだ まりな著

だいわしょぼう  
大和書房

「いらないものは捨てなさい」といわれても、捨てるものなんてひとつもない。でも、机のまわりを見てみると…。おもちゃ、コレクションなど、家にありそうな「捨てられないもの」を50個とりあげ、よくある「ものを持っている理由」と、かたづけるためのアドバイスをしようかいする。

### 『ねこのいいで』



ねこの  
いいで

たかはし かずえさく  
高橋 和枝作  
かん  
アリス館

ねこのちーこがいなくなった。ちょっとのあいだ、あけっぱなしだったアから、でていってしまったのだ。どこにいるんだろう。みつかならなかったらどうしよう。しんぱいでむねがどきどきする。そこらじゅうがして、もういちどいえにもどって、にわをみまわした。すると、にわのすみになにかがうずくまっているのが、ほんやりみえて…。

### 『みんなが知りたい!犬のすべて』



おくだ かよ かんしゅう  
奥田 香代監修

メイツユニバーサルコンテンツ  
「体つき」も「動き」も「言葉」も全く違うのに、人間と犬が仲良くて、しつしょにくらしていけるってすごいことなんだ。犬のからだのとくちゅうや犬種、はたらく犬のしごと、いっしょにくらすために必要なことなどをたのしくまなぼう。かわいい写真もたくさんのっているよ。

### 『きみときゅつ』



いぬい さえこさく・え  
パイインターナショナル

この森には、小さくてふわふわのどうぶつがたくさんくらしています。なにかかんないことがあったときは、いっしょにぎゅつ。「だいじょうぶ、だいじょうぶ。ゆっくり、ゆっくりでいいんだよ」「心細かったね。そばにいるから、だいじょうぶだよ」ぎゅっとだきしめられるだけで、からだと心があったかくなつて…。